

## 内部監査部門の実用版「品質のアシュアランスと改善プログラム (QAIP)」の公表とご活用の依頼

2021/6/10

日本内部監査協会 CIA フォーラム b4「内部監査の品質評価 2008 研究会」は、「我が国で内部監査の品質評価を実施する際の課題識別」や「課題に対する解決策のフィードバック」、「品質評価プロセスや結果情報の共有」等に取り組むことで、「内部監査の品質評価活動の有効性向上」に資することを目的として、2009 年 2 月より活動を継続しております。

当研究会では、米国内部監査人協会（「IIA」）の公表する「プラクティス・ガイド」の翻訳や、仮想の組織体に対する品質評価の事例検証（発見事象・改善提言ケーススタディ）といった、これまでの活動過程で度々、「品質のアシュアランスと改善のプログラム（QAIP）」との表現や定義に直面してきました。

QAIP に関する記載は、IIA 発行の『専門職的实施の国際フレームワーク（「IPPF」）』や『内部監査の品質評価マニュアル』にあるものの、内部監査部門が品質自己評価を行うには、より具体的な手法を示したツールが必要との認識に至り、当研究会は実用版の QAIP を自ら作成しました。

これは、内部監査体制や実務運営の評価に活用可能な「テンプレート」に相当するツールであり、内部監査部門が品質自己評価を実施し、ベストプラクティスとの比較を行う際の一助となるとともに、組織体における内部監査部門の立ち位置の確認に貢献する機能も担っています。

つまり、「内部監査部門の体制や活動の品質（Quality）が、IIA の国際基準に合致している場合は、その旨を保証（Assurance）し、合致していない場合は改善を促進（Improvement）するプログラム（Program）を策定する」ことで、部門として評価を実施する際に、有償のサービスへ頼らなくとも取り組める建付を目指しており（対応項目の選択も可能）、作成の経緯や内容を紹介するスライドと共に掲示させていただきます。

会員各位におかれましては、是非とも当 QAIP を自部門の評価時に活用賜りたく、**利用後に別途、気付かれた点に関してコメントや感想等をフィードバック頂ければ幸甚と存じ、協会事務局（[seminar@iiajapan.com](mailto:seminar@iiajapan.com)）へご連絡下さい。何卒宜しくお願い申し上げます。**

尚、フィードバックの結果は当 QAIP の利便性向上を目的としてのみ使用致しますので、関連する情報が組織体や個人の特定に繋がることはございません。ご協力のほど、重ねてお願い申し上げます。